

「創作ゼミナール I」 テーマ計画書

平成 18 年 7 月 7 日 作成

学籍番号：ソ 1 6 0 2 6 氏名：高木 裕宣 (矢萩研究室)

テーマ名： ロボットの設計と改良

A. 背景

小さいころからプラモデルなどを作ることが好きだったので、自分で 1 からロボットを作ってみたいと思ったため。

B. 目標

より人間に近い動作が出来るようにする。

C. 完成予想

全体的にねじりの動作が出来るロボットにする。

D. 具体化の手段

SolidWorks で部品を設計し、それを造型機で作る、ロボットに組み込む。

E. スケジュール

9 月から 10 月

改良のための部品を設計する (1 ~ 2 週間)

設計した部品を造型機で作る。(1 週間)

出来た部品をロボットに組み込む。(1 週間)

11 月

新しいロボット用の動作プログラムを作る。(1 ~ 2 週間)

動作確認とプログラムまたは部品の改良。(1 ~ 2 週間)

11 月末から 12 月

発表の準備

F. レビューポイント

設計が終わった段階、動作プログラムが出来た段階、再改良型の部品の設計の段階、発表の直前